

2 学年通信 NO. 5 (学年通信45号)

平成29年5月2日
2 学年会

- 先日、エイブルタイムの次の教材として「ちくまプリマー新書」39冊の中から1冊を選び購入申込をしてもらいました。人数の多寡はありますが、39冊中38冊の本が選ばれ当然ではありますが、志向の多様性を示す結果となりました。その中で、選出の多かった上位15冊は以下のようになっています。
- ・5月中旬には書籍が手に入る予定です。皆さんがどのように紹介するのか、楽しみです。

◆ちくまプリマー新書 選出上位15冊◆

書名	人数
1 打倒！センター試験の現代文	36
2 あなたの勉強法はどこがいけないのか？	33
3 友だち幻想	30
4 おとなになるってどんなこと？	28
5 「ゆっくり」でいいんだよ	19
6 池上彰の憲法入門	16
7 宇宙はこう考えられている	14
8 ちゃんと話すための敬語の本	13
9 中学生からの哲学「超」入門	13
10 文系？理系？	13
11 物語の役割	12
12 古典を読んでみましょう	12
13 なぜ「大学は出ておきなさい」と言われるのか	10
14 スポーツを仕事にする！	10
15 先生はえらい	9



- 第1回（4月22日）、第2回（4月29日）土ゼミの様子 第3回は5月13日



●**連休を有意義に過ごそう。★休日の前日の夜の過ごし方がカギになる★**

- ・学習は「習慣」である。リズムを崩さない。
- ・**油断して学習「0」時間になることが、連休中のダラダラを作ってしまう元凶と心得よ。**
「弛緩」し過ぎない!! 「明日やろう」は「〇〇やろう」
- ・「部活をできないことの言い訳にしない」 「忙しい」のは当たり前。
- ・「集中」は「時間制限」の中でこそ生まれ、磨かれる!
部活で時間のない人にこそチャンスあり。
- ★「計画」を立て、平日通りの規則正しい生活をしよう★ **1年前連休前学習時間18.7時間**
- ★休日でも早く起き「朝」を活用すべし★ **現在 連休前学習時間18.3時間**

新学期から夏までは、新しい生活にすぐに適応できず、
誰もが心身共につらいときです。
「ここが辛抱 しどころ」です。一緒に踏ん張っていこう。

●話題の書より 『伝え方が9割』 (佐々木圭一著)

～「伝え方には技術があり、共通のルールがある」～

- ・本著の中で、「ギャップ法 (以下の文章がギャップ法で書かれています)」を使用したコトバで、筆者が心ふるえたと紹介している、アメリカのボブ・ムーアヘッドという牧師さんの文章の一節をここに紹介します。ネット上で広まり都市伝説のようになった文章だそうです。

この時代に生きる 私たちの矛盾

ビルは空高くなったが 人の気は短くなり
高速道路は広くなったが 視野は狭くなり
お金は使っているが 得る物は少なく
たくさん物を買っているが 楽しみは少なくなっている
家は大きくなったが 家庭は小さくなり
より便利になったが 時間は前よりもない
たくさん学位を持ってても センスはなく
知識は増えたが 決断することは少ない
専門家は大勢いるが 問題は増えている
薬も増えたが 健康状態は悪くなっている

飲み過ぎ吸い過ぎ浪費し 笑うことは少なく

猛スピードで運転し すぐ怒り 夜更かしをしすぎて 起きたときは疲れすぎている
読むことは稀で テレビは長く見るが 祈ることはとても稀である
持ち物は増えているが 自分の価値は下がっている
喋りすぎるが 愛することは稀であるどころか憎むことが多すぎる

生計のたてかたは学んだが 人生を学んではいない
長生きするようになったが 長らく今を生きていない

中略

急ぐことは学んだが 待つことは覚えず
計画は増えたが 成し遂げられていない
たくさん書いているが 学びはせず
情報を手に入れ 多くのコンピューターを用意しているのに
コミュニケーションはどんどん減っている

中略

人生はどれだけ呼吸し続けるかで決まるのではない

どれだけ心のふるえる瞬間があるかだ (ボブ・ムーアヘッド作 佐々木圭一 訳)

